



マレーシア国際イスラム大学の学生・教員との交流プログラムがおこなわれました。

7月25日（月）、マレーシア国際イスラム大学(International Islamic University Malaysia)の学生・教員訪問団が立教大学法学部を訪れ、交流プログラムが行われました。最初に神橋一彦学部長から、日本の近代化・民主主義と法学教育について、次に政治学科倉田徹准教授（アジア政治論）よりアジアとはどこか？について講義が行われました。それに続いて両国の女性の法曹の活躍やロースクールの入りやすさなどについて活発な質疑応答や情報交換が行われ、充実した交流のひとつとなりました。

また交流プログラムには観光学部の学生も参加し、日本での過ごしやすさやハラールフードの利便などについてアンケートを行いました。



訪問団から神橋学部長への記念品贈呈